



いじめ撲滅に向けて

いじめは人間として絶対に許されない行為であり、児童の心身に重大な影響を及ぼします。いじめは、どの子供にも、どの学校でも起こり得るものです。SNS等によるネットいじめの件数は増加し、時代や生活様式の変化によって、いじめの態様は変化しています。

本校では、「いじめ防止基本方針」（学校ホームページに掲載）を作成し、その中には、いじめの定義や未然防止の取組、いじめへの対応等について記載しています。いじめの状況によっては、関係機関と連携をとる場合もあります。また、いじめの未然防止、早期発見・早期対応に努めています。早期発見・早期対応というのは、子供にとっては遊び半分と思うことも、エスカレートすればいじめにつながるとされる子供たちの言動に敏感に、アンテナをはって、早めに指導にあたるということです。

保護者に心配をかけたくないなどという理由から、誰にも相談できず一人で悩みを抱え込んでいる児童も少なくないといえます。右面の「いじめのサイン発見シート」を活用して、気になることがあれば学校にご相談ください。また、6月2日（月）に「いじめアンケート」を配布しました。ご協力宜しくをお願いします。

～家庭でできるいじめ防止三カ条～

本通小保護者の皆様へのお願い

1 心にゆとりをもたせて登校を！

子供たちが心も体も元気に学校生活を送るためには、学校の**始業時刻に間に合うような生活リズム作り**が大切です。顔も洗わず、朝食抜きで、教科書類をランドセルに放り込むようにして、ボーッとしながら登校したり忘れ物をしたりして、**朝のスタートが上手くいかず友達とトラブル**になってしまう子供もいます。**心にゆとりをもたせ**、さわやかに「いってらっしゃい」と声をかけて送り出してください。

2 学校からの配布物、持ち物のチェックを！

学校からの配布物で共通の話題をもち、子供の心の状態を把握するようにしましょう。時々、**ランドセルの中を点検**し、配布物やテスト等が入ったままになっていないか、**買った覚えのない物が入っていないか**見てください。

3 笑顔の絶えない「あったか言葉」が行き交う家庭づくりを！

子供たちが「元気」「やる気」を出すことができるように、愛情のある**あったかい言葉かけ**をお願いします。それが友達と接するときにもどのようにしていけばよいか、考えるものになります。人として良いモデルを示し、**何でも相談できる家族関係**を築いていきましょう。

いじめのサイン

発見シート

監修 森田洋司氏 大阪市立大学名誉教授 / いじめ防止基本方針策定協議会座長

多くの子どもたちが、だれにも相談できずにいる「いじめのこと」。言葉では伝えられなくても、「いじめ」があれば毎日の生活の中に、これまでとちがった行動や態度などが現れます。「いじめのサイン発見シート」を使ってふだんの生活とのちがいを確認してください。



朝 (登校前)

※チェック欄は2回、もしくは2人で出来るように2つあります。

- ☐ 朝起きてこない。布団からなかなか出てこない。
- ☐ 朝になると体の具合が悪いと言い、学校を休みたがる。
- ☐ 遅刻や早退がふえた。
- ☐ 食欲がなくなったり、だまって食べるようになる。



夕 (下校後)

- ☐ ケータイ電話やメールの着信音におびえる。
- ☐ 勉強しなくなる。集中力がない。
- ☐ 家からお金を持ち出したり、必要以上のお金をほしがる。
- ☐ 遊びのなかで、笑われたり、からかわれたり、命令されている。
- ☐ 親しい友達が遊びに来ない、遊びに行かない。



お子さまの
ようすは
いかがですか？



夜間 (就寝後)

- ☐ 寝つきが悪かったり、夜眠れなかったりする日が続く。
- ☐ 学校で使う物や持ち物がなくなったり、こわれている。
- ☐ 教科書やノートにいやがらせのラクガキをされたり、やぶられたりしている。
- ☐ 服がよごれていたり、やぶれていたりする。



夜 (就寝前)

- ☐ 表情が暗く、家族との会話も少なくなった。
- ☐ ささいなことでイライラしたり、物にあたったりする。
- ☐ 学校や友達の話がへった。
- ☐ 自分の部屋に閉じこもる時間がふえた。
- ☐ パソコンやスマホをいつも気にしている。
- ☐ 理由をはっきり言わないアザやキズアトがある。

■「いじめ」をしていませんか？

いじめる側になっていると、次のようなサインが出ていることがあります。



- ☐ 言葉づかいが荒くなる。言うことをきかない。人のことをばかにする。
- ☐ 買ったおぼえのない物を持っている。
- ☐ 与えたお金以上のものを持っている。おこづかいでは買えないものを持っている。

クラス替えなど環境の変化には特に注意が必要です。

4月はクラス替えで新しい友達ができるなど、子どもにとって環境の大きく変わる月です。学校生活を楽しく過ごせる友達ができるかどうか、注意して見守る必要があります。また、転校などのタイミングにも注意してください。

休み明けの変化を見逃さないようにしましょう。

夏・冬休みの終わりごろから新学期が始まる時期に、登校をいやがったり、元気がなくなったりしていないか、子どものようすの変化に注意する必要があります。日曜日から月曜日にかけても同じです。

※チェック項目は参考例です。お子さまやご家族の実態に合わせて、ご活用下さい。

「あれ？」
もしかしてと
思ったら...

- 子どもにとって良き相談相手になってあげましょう。気持ちを受け入れてあげることが大切です。
- ようすがおかしくても、問いつめたり、結論を急いだりしないようにしましょう。
- 何があっても「守り抜く」「必ず助ける」ことを真剣に伝えましょう。
- いじめている人が悪く、いじめられている人は悪くないと伝えましょう。
- 子どもに次のようなことは言わないようにしましょう。
「無視なさい」「大したことではない」「あなたにも悪いところがある」「いじめられるほうが悪い」「弱いからいじめられる」

ご家族だけで悩まずに、心配なことは学校へ相談しましょう。

相談窓口 24時間いじめ相談ダイヤル
24時間全国どこからでも悩みを相談することができます。

0570-0-78310 (なやみ言おう)

政府広報オンライン特集ページ <http://www.gov-online.go.jp/tokusyu/ijime/>



政府広報 | 文部科学省